

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		百貨店（店舗企画）	・9月以降は化粧品売場の改装により、客数が増加するものと見込まれる。
		スーパー（企画担当）	・インバウンドへの取組による売上増が見込まれる。
		コンビニ（経営者）	・ビール等の酒類と一緒に総菜を買っていく男性が増えており、来客数が増えていくとみている。
		旅行代理店（マネージャー）	・8月後半～9月は団体旅行等の受注もあり売上アップが期待できる。天災等で吹き飛ばなければいいが。
		通信会社（店長）	・9月以降新商品の販売が予想され、市場が活気付くと見込まれる。同時に販売員のスキルも上がっており販売力が付いてきているため、販売量アップが期待できる。
		住宅販売会社（営業担当）	・消費税の引上げに向けて今後は、来場客数と商談件数が増える見込まれる。
		コンビニ（代表者）	・深刻な人手不足が大きな課題となっており、大きな伸長ができるか不透明である。
		衣料品専門店（経営者）	・月頭のセールで数字は少し取れたが、それほど満足のいく数字ではない。中旬からは毎月のごとく良くない状態であり、景気はまだまだ良いとは言えない。まだ様子見である。
		衣料品専門店（経営者）	・来月からは夏休みの家族連れ、9月は大学生の旅行者などが増える見込みである。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・夏の繁忙期に入っているが、例年に比べ大きく変わる要因は見当たらない。内地ほどの酷暑にはなっていないので、そうした悪影響はないようにみられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月後の客室稼働率は、今月同様に前年同月実績を下回る見込みである。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの予約状況は前年並みで、同業もほぼ横並びの状態である。今年は前年に比べ台風による悪影響が懸念される。
		住宅販売会社（代表取締役）	・戸建て住宅や投資案件など建築情報は多いが、設計士や下請会社などの人手不足があり、思うようには建築受注を増やせないのが現実である。
	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊は競争相手が増えていることで厳しくなっている。飲食も同様である。今回の平成30年7月豪雨や台風などで旅行者の旅行意欲がなくなるのではと心配している。	
	×	商店街（代表者）	・全体的には、頑張っている企業には利益が出るかもしれないが、零細企業の寄り集まりである商店街ではサービスも限度があり、単価でも大型店には勝てない。零細企業を多く抱えている日本は今後、危機感を抱くのではないかと。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・最低賃金の値上げ発表があったが、飲食業では時給1,000円でもアルバイトが見つからない。売上の上がる週末に接客の対応が追い付かず、入店規制をかけたり、シフトが組めず、店休日を入れるため、売上を上げることができない。外国人労働者も飲食業では就労ビザが取れないため、政府は早く何とかしてほしい。
企業 動向 関連 (沖縄)		輸送業（経営企画室）	・毎月の入域観光客数が前年比増の記録を連続更新しているが、国内観光客数の減少に対し、国外観光客数が増加していることで記録を維持している。はしか等の影響もあったとみられ、終息した今であれば更に吹き返すのではと予測される。それに伴って、県内消費増から景気が良くなるとみられる。
		建設業（経営者）	・新築の申込金額が増加しており、売上増が見込まれる。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島は、観光客対応のホテルや量販店等の民間工事が多く、特に宮古島は陸上自衛隊関連の建設工事も本格化しており、生コンの出荷が過去にないほど増大している。アスファルト出荷量も今後上向きつつある。
		食料品製造業（総務）	・何となく消費者の購買が特売時に集中しているようにみられ、力強さが感じられない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・ホテル、賃貸共同住宅の建設が好調である。
		広告代理店（営業担当）	・広告販促活動の領域で見ると、飲料メーカー系は競争環境が厳しさを増し販促費を抑える傾向にある。不動産系は業績が順調なかで人材不足が起因して需給バランスが悪化し、受注拡大を目的とした販促活動は消極的である。流通系も業績は順調だが、ハードインフラ投資を優先する傾向にあり、販促活動はやや消極的である。一方、ベンチャー企業を含む小規模事業者は、受注拡大に意欲的で、販促活動に対しても積極的な傾向にある。
		会計事務所（所長）	・観光業は天候の理由で一時的に売上が低下しているが、今後、持ち直しが期待される。ただ、それほど大きな効果ではない。

		-	-
	x	-	-
雇用 関連		-	-
(沖縄)		求人情報誌製作会社 (編集室)	・ 8月までは求人件数は変わらないか若しくは減少するとみられるが、9月はやや増加すると予想している。
		学校 [専門学校] (就職担当)	・ 民間企業はボーナス時期に当たるので、ヒト、モノ、カネの動きが活発になるとみている。
		人材派遣会社 (総務担当)	・ 夏場の観光関連を中心に県内景気は良いが、雇用環境では引き続き人手不足感が強く、景気の状態は変わらないとみられる。
		求人情報誌製作会社 (営業担当)	・ 観光業の景気は良いが、求人数は徐々に減少する傾向である。
		学校 [大学] (就職担当)	・ 新卒採用求人の動きは緩やかになってきたが、これから採用活動が始まる企業との相談等では、引き続き積極採用を考えている企業が多いように感じる。しばらくは緩やかなペースで求人情報をお預かりしていくことになる見込みである。
		-	-
	x	-	-